

氏 名	福 岡 晃 輔
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 4251 号
学位授与の日付	平成20年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Glycated Albumin Levels Predict Long-Term Survival in Diabetes Patients Undergoing Hemodialysis (糖尿病血液透析患者においてグリコアルブミンは長期間の 生命予後を予測する)
論文審査委員	教授 小出 典男 教授 二宮 善文 准教授 光延 文裕

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

糖尿病腎不全患者における血糖管理の意義や血糖管理の指標として何が有用かについて明らかではない。グリコアルブミン (GA) は糖尿病腎不全患者において血糖管理の指標として有用であることが近年明らかになった。そこで糖尿病血液透析患者における血糖管理の意義を明らかにするため、透析導入時の GA 値と生命予後との関連について検討した。糖尿病性腎症で新規血液透析導入となった 98 人の導入時の GA 値を測定し、平均 47.7 ヶ月間観察した。GA 値が 29%以上と 29%未満の 2 群に分けて生存率を比較し、GA 値と全死亡や死因との関連について多変量解析を用いて検討した。生存率は GA 値 29%以上の血糖管理不良群で有意に低く、GA 値は独立した生命予後予測因子であった。また血糖管理不良群は血糖管理良好群に比べ有意に心血管死のリスクが高かった。糖尿病腎不全患者の生命予後を改善するために透析導入前の血糖管理が重要であることが示唆された。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究では糖尿病性腎症末期で腎透析を行うに至った患者 98 人を対象に、透析導入前の血糖管理が透析導入後の生命予後にどのように関連するかが検討されている。腎不全患者では貧血が強く、HbA1c では正確な血糖コントロールが困難である。そこで糖化アルブミンに (GA) に注目して透析導入前の血糖コントロール状態を、コントロール良好群 (GA 値 29%未満) とコントロール不良群 (GA 値 29%以上) の 2 群に分けて、生命予後に関連する因子の多変量解析を行っている。GA 高値、総コレステロール、Na などが有意な生命予後予測因子であったが、さらに既知の危険因子を調整した後にも、透析導入前の GA 値が 29%以上の血糖コントロール不良は独立した危険因子であることが判明した。このことは糖尿病性腎症の末期での透析導入時の生命予後を予測する上で重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。